

北海道がん対策推進計画

[平成30年(2018年)4月～令和6年(2024年)3月]

令和5年度取組実績

令和6年(2024年)5月
北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

【全体目標】

- 1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実
- 2 患者本位のがん医療の実現
- 3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

【評価】

道では、企業等と連携し、がん検診の啓発リーフレットの配布やがん予防セミナーを開催する他、がん予防の正しい知識や検診受診の重要性について発信するため、「がん予防道民大会」を関係機関と連携して開催するなど施策を進めているが、計画の全体目標指数である75歳未満がん年齢調整死亡率については、目標値である全国平均には至っていない状況であり、今後もがん対策を一層推進する必要があります。

項目	R5取組事項
1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実	
(1) がんの1次予防	
①たばこ対策について	
<p>○たばこが健康に与える影響について、普及啓発を行うとともに、社会全体で未成年者や妊婦が喫煙しない環境づくりやたばこをやめたい人が、身近なところで禁煙支援が受けられる環境の整備など、喫煙率の減少等に向けた施策を推進します。</p>	<p>●北海道受動喫煙防止ポータルサイトやほっかいどう健康づくりツイッターにおいて、受動喫煙に関する情報の発信を行いました。</p> <p>●関係機関と連携し、禁煙週間(5月31日～6月6日)に合わせ「No-Tobacco」展や禁煙フォーラムを開催し、普及啓発を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「No-Tobacco」展：R5.5.30～5.31、道庁1階ロビー ・「禁煙フォーラム(WEB講演会)」：R5.6.3～ <p>※YouTubeでの録画配信(期間限定)</p>
<p>○特に胎児や新生児、乳幼児などの発育期におけるたばこの影響を低減するため、女性をはじめ妊産婦や同居する家族などを対象とした禁煙指導や普及啓発などを推進します。</p>	<p>●道立保健所において、禁煙相談を実施するとともに、道のホームページ等で禁煙治療を実施する医療機関の情報提供や禁煙サポート啓発リーフレットを掲載するなど普及啓発を行いました。</p> <p>●道立保健所において、小学校等からの依頼に基づき、20歳未満の者に対する喫煙防止講座を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施数：8校(R4年度：9校) <p>●北海道喫煙防止健康教育教材(DVD)を活用し、各市町村において喫煙防止教育に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施数：19市町村、6保健所 <p>●女性の健康づくり週間やがん征圧月間において、リーフレットを配布するなど、妊産婦等に対するたばこによる健康被害の普及啓発に取り組みました。</p>
<p>○そのほか、受動喫煙の防止については、健康増進法の改正等を踏まえた対応を行うほか、公共施設等での禁煙・分煙化や道民に対する普及啓発を進め、受動喫煙防止の促進に向けた施策に取り組みます。</p>	<p>●受動喫煙ゼロの実現を目指し、「北海道のきれいな空気の施設」の登録促進を行い、受動喫煙防止に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録数：2,697施設(R4年度：2,359施設) <p>※健康増進法の改正に伴い「おいしい空気の施設推進事業」の事業見直しを行い、R2.4.1から「北海道のきれいな空気の施設登録事業」として推進しています。</p> <p>●がん対策の推進に関する協定締結企業と共催で実施したがん予防セミナーやがん予防道民大会等において、がん対策と一体的に啓発活動を行いました。</p>
②生活習慣について	
<p>○生活習慣の改善については、飲酒、食事の量やバランスの改善、適度な運動による適切な体重の維持など、成人への普及啓発を推進のほか、小・中・高等学校の生徒等への健康教育などの施策を推進します。</p>	<p>●道民健康づくり推進週間等を通して、健康的な生活習慣の普及啓発を実施しました。</p> <p>●「ほっかいどう健康づくりツイッター」により、道民に対し健康づくり等に関する情報の発信を行いました。</p> <p>●「北海道版食事バランスガイド」を広く普及し、適切な量と質の食事摂取(野菜摂取量の増加)と適正体重を理解するための情報提供及び体重測定などのセルフチェックの普及促進を行いました。(北海道食生活改善推進協議会への委託事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「北海道版食事バランスガイド」普及啓発 39回 ・「セルフチェック」の普及啓発 4,110人 <p>●がん検診と特定健診の一体的な受診促進が図られるよう、関係機関と協働で啓発イベントを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道家族の健康をまもる講習会への参画(R5.7) ・北海道庁内(がん予防パネル展)(R5.9月) ・イトーヨーカドーアリオ(特定健診等普及事業)(R6.2月)
③感染症等対策について	
<p>○ウイルス感染や生活環境によるがんの発症リスクについて、道民自ら予防行動がとれるよう正しい知識の普及などの施策を推進します。</p>	<p>●ホームページへの掲載やリーフレット等の配布により、HPVウイルスや肝炎ウイルス、HTLV-1などの感染予防に関する情報の周知を行い、普及啓発を実施しました。</p>

項目	R5取組事項
<p>1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実</p> <p>(2) がんの早期発見・がん検診(2次予防)</p> <p>① 受診率向上対策について</p> <p>○がん検診の受診促進については、引き続き受診率向上に向けた普及啓発を推進するほか、検診無料クーポン事業の継続及び対象疾病の拡大を国に要請するなど、受診しやすい環境づくりとともに、道民ががん検診の意義を正しく認識するための施策を推進します</p> <p>○また、がん検診と特定健診との一体的な実施のほか、がん検診の手続きの簡便化、コール・リコールなど効果的な受診勧奨の徹底、職域のがん検診との連携など、がん検診受診率の向上に向けた施策を推進します</p> <p>② がん検診の精度管理等について</p> <p>○市町村や検診実施機関が実施するがん検診の実態の把握を行い、分析・評価を行うなど、検診精度の維持・向上が図られるための施策を推進します。</p>	<p>●協定締結企業と連携した取組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 顧客や企業内職員、家族への検診受診のためのリーフレットの配布 がんサポート登録企業の拡大の取り組み(第一生命保険(株)) がん予防セミナーの開催(中外製薬(株)、住友生命保険相互会社) がん検診啓発資材の提供(オリンパス(株)) <p>●市町村における検(健)診が始まる前に、効果的な受診勧奨の啓発ができるよう、企業と連携した啓発活動を実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「がんを知る展」R5.4～(道庁内、道内各地の郵便局) <p>●市町村や関係機関と連携し、がん検診受診促進のため会議を開催し、がん検診受診率向上対策に意見交換や情報共有を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> がん及び生活習慣病対策推進会議(R5.9) 市長会との意見交換(R5.10) 市町村との意見交換(R5.7) <p>●北海道がん対策基金を活用した啓発動画の作成(胃がん予防啓発動画)</p> <p>(再掲)</p> <p>●がん検診と特定健診の一体的な受診促進が図られるよう、関係機関と協働で啓発イベントを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道家族の健康をまもる講習会への参画(R5.7) 北海道庁内(がん予防パネル展)(R5.9月) イトーヨーカドーアリオ(特定健診等普及事業)(R6.2月) <p>●市町村におけるがん検診の受診率と精度管理の向上を図るため、市町村に対し、がん検診チェックリストの遵守状況やがん精検受診率などの情報提供を行うとともに、研修会を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> がん検診事業評価向上研修会：R5.4月(オンライン開催) <p>●市町村で実施している受診率向上対策への財政措置の拡充等について、国に要望しました。</p> <p>●がん検診に従事する職員の資質向上を図るための研修会を関係機関との共催により開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 細胞診従事者講習会 R6.3月(オンライン開催) 放射線研修委員会研修会 R6.3月(オンライン開催) <p>●がん診断医への研修会の実施(実施機関：北海道医師会)R6.3月</p> <p>(再掲)</p> <p>●市町村におけるがん検診の受診率と精管理の向上を図るため、市町村に対し、がん検診チェックリストの遵守状況やがん精検受診率などの情報提供を行うとともに、研修会を開催しました。(※年度当初の開催に変更)</p> <ul style="list-style-type: none"> がん検診事業評価向上研修会：R5.4月(オンライン開催)

項目	R5取組事項
<p>1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実</p> <p>(2) がんの早期発見・がん検診(2次予防)</p> <p>③ 職域におけるがん検診について</p> <p>○ 職域における事業主や保険者が実施するがん検診を支援するため、正しいがん検診が実施できるよう必要な情報提供を行い、がん検診の実施を促進するための施策を推進します。</p> <p>○ 職域と市町村の連携による、配偶者への効果的な受診勧奨の取組の促進など、企業等と連携した受診率向上対策を一層推進します。</p>	<p>●北海道がん対策サポート企業の登録促進を実施。 ・登録数：事業者：(R5年度：1,199事業者) ※R4年度(632事業者)</p> <p>●北海道がん対策サポート企業や連携協定締結企業・団体を参集し、がん対策に係る取組やなど情報共有を図りました。 ・がん対策サポート会議 R5.8月</p> <p>●がん検診の受診促進が図られるよう、がん対策サポート企業の社員やその家族等に検診受診のためのリーフレットを配布し、受診勧奨を行いました。</p> <p>●北海道がん対策サポート企業のうち、がん検診の受診促進やがん患者の雇用の継続等が特に優良な企業を表彰しました。 ・中外製薬株式会社、北洋銀行 (R5.10 がん予防道民大会で表彰)</p>
<p>2 患者本位のがん医療の実現</p> <p>(1) がんの1次予防手術療法・放射線療法、薬物療法等の充実</p> <p>① がん医療提供体制について</p> <p>○ 拠点病院等と地域の中核となる医療機関との連携や小児がん拠点病院、高度がん診療中核病院の機能が十分発揮されるための施策を推進します。</p> <p>○ 北海道がん診療連携協議会との連携により、がん診療に関する情報交換やがん登録データの集積と分析・評価、医療従事者等の研修、拠点病院等への診療支援、医師の派遣調整など、拠点病院間の連携によるネットワークづくりを進めます。</p> <p>○ 未整備圏域への拠点病院等の整備に向けた働きかけを進めます。</p> <p>② 各治療法等について</p> <p>○ 拠点病院等における手術療法、放射線療法及び薬物療法などを効果的に組み合わせた集学的治療が実施されるための施策を推進します。</p> <p>○ 免疫療法については、科学的根拠のあるものとそうでないものがあることがわかるよう道民への情報提供を推進します。</p>	<p>●がん診療連携拠点病院及び地域がん診療病院の指定更新において、既指定病院を推薦しました。 ・拠点病院数：21 ・地域診療病院数：1 ・指定総数：22 (R4年度：22)</p> <p>●がん診療連携拠点病院及び地域がん診療病院の機能を強化するための補助金を交付しました。</p> <p>●北海道がん診療連携協議会及び各都府県に参画し、各病院等における情報や課題の共有などを行いました。</p> <p>●北海道がん診療連携指定病院の指定更新を行いました。 ・指定総数：27 (R4年度：27)</p> <p>●北海道地域小児がん医療提供体制協議会に参画し、小児がん拠点病院及び小児がん連携病院との意見交換や情報共有等を行いました。</p> <p>●北海道がん診療連携協議会及び各都府県において、関連情報の共有などを行いました。</p> <p>●関係医療機関の医師等とのがん治療に関する意見交換を行いました。</p> <p>●がん診療連携拠点病院及び北海道がん診療連携指定病院の現況報告により、当該病院のがん医療の状況把握を行いました。</p>

項目	R5取組事項
2 患者本位のがん医療の実現	
(1) がんの1次予防手術療法・放射線療法、薬物療法等の充実	
③チーム医療の推進	
<p>○拠点病院等における集学的治療等の提供体制の整備、カンサーボードの実施、医科歯科連携、薬物療法における医療機関と保険薬局との連携、栄養サポートやリハビリテーションの促進など、多職種によるチーム医療を実施するための施策を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●北海道がん診療連携協議会及び各部会において、関連情報の共有などを図りました。 ●がん診療連携拠点病院及び北海道がん診療連携指定病院の現況報告により、当該病院のがん医療の状況把握を行いました。 ●道内のがん患者の支援の充実に向けた多職種連携を促進するための研修会を関係機関との共催で実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・北見地域のがん患者さん支援の充実に向けたセミナー R5.7月、9月
④がんゲノム医療	
<p>○国のがんゲノム医療に関する検討状況を踏まえ、道内における医療提供体制の構築に関する施策を推進します。</p> <p>○ゲノム医療に関する情報提供を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●患者支援団体と連携して、がんゲノム医療に関するセミナーを開催しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・難治性がん啓発キャンペーン R5.6月（オンライン） ●がんゲノム医療中核拠点病院に北海道大学病院、がんゲノム医療拠点病院に札幌医科大学附属病院が指定。連携病院として、北海道がんセンター、旭川医科大学病院、手稲溪仁会病院、札幌厚生病院、K K R札幌医療センター、市立札幌病院、旭川厚生病院、砂川市立病院、市立函館病院、帯広厚生病院、函館五稜郭病院、王子総合病院が指定されている。 ●道外のがんゲノム医療中核拠点病院（慶應義塾大学病院）の連携病院として、恵祐会札幌病院が指定されている。
(2) 後遺症対策等の推進	
<p>○がんの副作用・後遺症について、医療従事者に対する知識・技能の向上に関する施策を推進します。</p> <p>○がんの副作用・後遺症について、道民への理解の促進に必要な施策を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●リンパ浮腫患者が地域で安心してケアを受けることのできる体制づくりの構築を目的として、リンパ浮腫の治療に携わる医療従事者を対象に、リンパ浮腫医療従事者研修会を北海道大学病院の協力のもと開催しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：R6.1月、2月 オンライン開催 ●リンパ浮腫診療連携セミナーを社会医療法人孝仁会釧路孝仁会リハビリテーション病院と共催で開催 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：R5.10月 ハイブリッド開催
(3) 女性特有のがん、希少がん、難治性がん対策	
①女性特有のがん	
<p>○女性特有のがん対策については、たばこが若い女性の健康に与える影響についての普及啓発を行うとともに、性別や職業等に関わらず道民すべてが女性特有のがんの特性を理解するための施策を推進し、女性ががん検診を受診しやすい環境づくりに向けた施策を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●企業と連携し作成した「子宮頸がん検診」についての啓発動画を活用した啓発の実施。 ●子宮頸がん検診の受診促進を図る患者支援団体と女性を受診しやすい環境の整備についてイベント通じた啓発や定期的な意見交換を行っています。 ●女性の健康週間におけるパネル展を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・道庁内 R6.3月
②希少がん	
<p>○希少がん対策については、希少がんに関する道民の理解の促進や、適切な情報提供、相談支援が行える体制の整備を進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●がん征圧月間の取組でのパネル展の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・北海道庁内（がん予防パネル展）（R5.9月） ●北海道がん診療連携協議会相談・情報部会において、関連情報の把握と共有を図りました。

項目	R5取組事項
<p>2 患者本位のがん医療の実現</p> <p>(3) 女性特有のがん、希少がん、難治性がん対策</p> <p>③難治性がん対策</p> <p>○難治性がん対策については、難治性がんに関する道民の理解の促進、拠点病院等や小児がん拠点病院を中心とした関係医療機関との連携や、適切な情報提供、相談支援が行える体制の整備を進めます。</p>	<p>●患者支援団体などとの共催によるイベント等を通して普及啓発を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難治性がん啓発キャンペーン 開催日：R5.5月（札幌地下歩行空間） R5.6月（オンラインセミナー） <p>（再掲）</p> <p>●がん征圧月間の取組でのパネル展の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道庁内（がん予防パネル展）（R5.9月） <p>●北海道がん診療連携協議会相談・情報部会において、関連情報の把握と共有を図りました。</p>
<p>(4) 小児がん、AYA世代のがん及び高齢者のがん対策</p> <p>①小児がんについて</p> <p>○小児がん拠点病院を中心とした地域の医療機関との連携や情報提供、相談支援を行う連携体制を構築します。</p>	<p>（再掲）</p> <p>●北海道地域小児がん医療提供体制協議会に参画し、小児がん拠点病院及び小児がん連携病院との意見交換や情報共有等を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道地域小児がん医療提供体制協議会 オンライン開催 <p>●小児・AYA世代の妊孕性温存療法を促進するためのネットワークを構築（R3～）</p> <p>●小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業の利用促進を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成実績 30名（R4：30名）
<p>②AYA世代のがん世代について</p> <p>○AYA世代のがん患者が利用可能な制度や相談機関等が十分に活用されるよう施策を推進します。</p>	<p>（再掲）</p> <p>●小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業の利用促進を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成実績 30名（R4：30名） <p>●がん対策の推進に関する連携協定企業と連携して、小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法について考える会を開催しました。</p> <p>●北海道がん診療連携協議会相談・情報部会において、妊孕性温存療法についての意見交換を行い、がんサポートハンドブックに情報を掲載しました。</p> <p>また、市町村やがん対策サポート企業等への周知も行うなどして、AYA世代の方々への周知を図りました。</p> <p>●各種メディアを通じて、妊孕性温存療法に関する普及啓発を行いました。</p>
<p>③高齢者のがんについて</p> <p>○拠点病院等を含む地域の医療機関や介護施設等が連携し、高齢者のがん患者やその家族の意思決定に沿った治療や支援につながる施策を推進します。</p>	<p>●高齢者のがん患者が利用可能な支援制度について、道のホームでの周知を行ったほか、北海道がん対策サポート企業にも配布を行うなどして、働くがん患者への情報提供を行いました。</p>

項目	R5取組事項
2 患者本位のがん医療の実現	
<p>(5) がん登録</p> <p>○がん登録情報等に基づき、がんの罹患状況や生存率等のがん登録情報を用いて、地域ごとのがんの状況を分析し、効率的・効果的な施策を推進します。</p> <p>○個人情報に配慮しつつ、がん登録によって得られた情報等を利活用することによって、道民のがんに対する理解の促進やがん患者やその家族の医療機関の選択等に資するよう、道民への情報提供を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●がん登録・評価事業により、北海道のがん登録状況を取りまとめて公表しました。 ●北海道がん診療連携協議会がん登録部会等に参画し、関係医療機関との情報共有や意見交換を行いました。 ●申請のあった5機関にがん情報の提供を行いました。 ●北海道がんセンターと連携し、全国がん登録実務者研修会を開催しました
3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築	
<p>(1) がんと診断されたときからの緩和ケアの推進</p> <p>①緩和ケアの提供について</p> <p>○拠点病院等を中心として、診断時から患者の苦痛のスクリーニングを行うとともに、緩和ケアチームなどによる質の高いケアの提供や多職種との連携による緩和ケアの提供体制の充実に向けた施策を推進します。</p> <p>②緩和ケア研修会について</p> <p>○現在、国が検討している緩和ケア研修会の開催指針の見直しを踏まえ、拠点病院等と連携し、新たにグリーフケアのプログラムを加えるなど、研修会の充実に向けた施策を推進します。</p> <p>③普及啓発について</p> <p>○拠点病院等と連携し、引き続き緩和ケアの意義や必要性に関する普及啓発などの施策を推進します。</p> <p>④在宅緩和ケアについて</p> <p>○在宅や施設等において、がん患者が適切な緩和ケアが受けられるよう、在宅療養支援診療所や保険薬局、訪問看護ステーション、訪問介護事業所、居宅介護支援事業所などに対する緩和ケアの知識の普及を図り、地域における連携体制の構築や在宅医療・介護の提供体制の充実に向けた施策を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●がん診療連携拠点病院及び北海道がん診療連携指定病院の現況報告により、当該病院における緩和ケアの提供体制の状況把握を行いました。 ●道内のがん患者の支援の充実に向けた研修会を関係機関との共催で実施した他、地域との意見交換を実施しています。 ●北海道がん診療連携協議会及び各部会において、関連情報の共有などを図りました。 ●道内のがん診療連携拠点病院等が主催する緩和ケア研修会の開催状況を整理し、ホームページにおいて、公表しています。 ●北海道がん診療連携協議会が発行する北海道がんサポートハンドブックにおいて、道内医療機関における緩和ケアに関する情報を掲載し、道のホームページや道内市町村、がん対策サポート企業等に周知を図っています。 ●北海道がん診療連携協議会及び各部会において、関連情報の共有などを図りました。 ●道内のがん患者の支援の充実に向けた研修会を関係機関との共催で実施した他、地域との意見交換を実施しています。
<p>(2) 相談支援、情報提供</p> <p>①相談支援について</p> <p>○がん相談支援センター間や地域の医療機関との情報共有、協力体制の構築など患者団体とも連携をしながら相談体制の維持・確保に向けた施策を推進します。</p> <p>○相談支援センター等の相談員の資質向上に向けた施策を推進します。</p> <p>○患者サロンやピア・サポート等の患者・家族の支援体制について、医療関係者や道民にその有効性について周知を図るとともに、相談員やピアサポーターの質の確保に向けた施策を実施するほか、患者団体間の相互理解と連携の促進、道と患者団体との協力関係の構築に向けた施策を推進します。</p> <p>②情報提供について</p> <p>○国や道、市町村・拠点病院等が適切な役割分担のもと、患者団体や企業等と連携しながら、適切な情報共有・情報提供などの施策を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●北海道がん診療連携協議会相談・情報部会において、がん相談支援センターの役割や課題など、定期的に意見交換を行いました。 ●患者団体や関係機関との定期的に意見交換を行うとともに、連携して、がん予防啓発イベントや研修会、フォーラム等を開催しました。 ●患者団体や企業等との意見交換を随時行い、患者団体や企業等が主催するイベントについて、積極的に道が後援を行い、道のホームページやSNS等を活用し、情報発信を行いました。

項目	R5取組事項
3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築	
(3) がん患者等の就労を含めた社会的な問題	
① 就労支援について	
○がん患者が診断時に安易に離職することがないよう、拠点病院等と連携して必要な情報を提供し、両立支援に関する施策を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●北海道がん対策サポート企業の登録促進を行うとともに、北海道がんサポートハンドブックをデータ配布するなど働くがん患者さんへの情報発信を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ・登録数：1,199事業者：（R4年度：632事業者）
○また、拠点病院等やハローワークなどと連携し、長期に療養しているがん患者の復職支援に必要な相談支援体制の維持、向上に関する施策を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●北海道がん対策サポート企業や連携協定締結企業・団体を参集し、がん対策に係る取組やなど情報共有を図りました。 <ul style="list-style-type: none"> ・がん対策サポート会議 ●「北海道両立支援推進チーム協議会」（事務局：北海道労働局）へ参画し、治療と仕事の両立支援や長期療養者の就職支援の取組について、関係機関等との情報共有を図りました。 <ul style="list-style-type: none"> ・北海道両立支援推進チーム協議会 R5.8.月オンライン開催 ●地域で行われているがん就労に関するオンラインセミナーに参画し、道内の支援体制等について共有を行いました。
○がん患者を雇用する就業環境の整備など、企業が、がん対策に取り組むための施策を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●患者支援団体などとの共催により、がん患者さんが安心して仕事を続けられるための環境整備を目的としたフォーラムを開催しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ワーキングガバナンスフォーラム2024 開催日：R6.3月 ハイブリッド開催
② 就労以外の社会的な問題について	
○がんに対する偏見等がなくなるよう児童生徒だけではなく、道民に対し、がんに関する正しい知識が得られるよう必要な施策を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●患者支援団体などとの共催により、「がんとの共生」について考えるフォーラムを開催しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ワーキングガバナンスフォーラム2024 開催日：R6.3月 ハイブリッド開催
○がん患者の自殺防止など、精神心理的なケアにつなぐための施策を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●北海道がん診療連携協議会が発行する北海道がんサポートハンドブックにおいて、相談支援情報等を掲載し、道のホームページや道内市町村、がん対策サポート企業等に周知を図っています。
(4) がん教育、がんに関する知識の普及啓発	
① がん教育	
○関係団体、拠点病院や患者団体等と連携し、児童生徒等を対象としたがんの予防や早期発見等のがん教育に関する施策を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●関係機関と連携して、がん予防道民大会を開催し、多くの若い世代に参画していただきました。 <ul style="list-style-type: none"> ・稚内市 R5.10月ハイブリッド形式（地元高校生 270名） ●道教育庁や協定企業（武田薬品工業（株）と連携し、「がん教育啓発動画」を共同作成しました。 ●道教育庁が主催する教職員や外部講師を対象とした研修会に参画し、意見交換を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・がん教育研修会（R6.1月）
○関係団体、拠点病院や患者団体等と連携しながら、適切ながん教育が実施されるようがん教育実施校の事例などをもとに、課題分析等を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●北海道がん診療連携協議会において、がん教育の外部講師の活用等について意見交換を実施しました。 ●道教育庁主催のがん教育総合支援事業協議会等へ参画し、道内学校等でのがん教育の実施状況等について、関係者と協議しました。
② がんに関する知識の普及啓発	
○道民が正しい知識を得られるよう、関係団体、医療機関、患者団体等と連携し、引き続き、がんに関する正しい知識の普及啓発などの施策を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●より効果的に、多くの道民にがんに関する知識の普及啓発ができるよう、これまで企業が独自に実施していたイベントに道が参画し、企業と一体的な取組を進め、報道機関への情報発信を強化しました。

項 目	R5取組事項
3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築	
(5) 道民運動の推進	
<p>○道民運動の推進については、自らががんに関する正しい理解を深め、がん対策に参加できるよう、条例の理念に基づき、道、市町村、保健医療福祉関係者、教育関係者、事業者及びがん患者等を含む道民の適切な役割分担の下に一体となって施策を推進します。</p>	<p>(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●関係機関と連携して、がん予防道民大会を開催し、多くの若い世代に参画していただきました。 <ul style="list-style-type: none"> ・稚内市 R5.10月ハイブリッド形式 ・参加者 約 750名 (うち高校生 270名) ●地域で開催されたイベントに参画 <ul style="list-style-type: none"> ・リレー・フォー・ライフジャパン2023とまこまい R5.7 ・リレー・フォー・ライフジャパン2023 室蘭 R5.8